

<利益相反開示項目>

A. 申告者の申告事項

1. 企業や営利を目的とした団体の役員，顧問職の有無と報酬額（1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上）
2. 株の保有と，その株式から得られる利益（1つの企業の年間の利益が100万円以上，あるいは当該株式の5%以上を保有する場合）
3. 企業や営利を目的とした団体から支払われた特許権使用料（1つの特許権使用料が年間100万円以上）
4. 企業や営利を目的とした団体から会議の出席（発表，助言など）に対し，研究者を拘束した時間・労力に対して支払われた日当，講演料など（1つの企業・団体からの年間の講演料が合計50万円以上）
5. 企業や営利を目的とした団体がパンフレットなどの執筆に対して支払った原稿料（1つの企業・団体からの年間の原稿料が合計50万円以上）
6. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（1つの企業・団体から医学系研究（共同研究，受託研究，治験など）に対して申告者が実質的に用途を決定し得る研究契約金の総額が年間100万円以上）
7. 企業や営利を目的とした団体が提供する奨学（奨励）寄附金（1つの企業・団体から申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して申告者が実質的に用途を決定し得る寄附金の総額が年間100万円以上）
8. 企業などが提供する寄附講座に申告者らが所属している場合
9. 研究とは直接に関係しない旅行，贈答品などの提供（1つの企業・団体から受けた報酬総額が年間5万円以上）

B. 申告者の配偶者，一親等内の親族，または収入・財産を共有する者の申告事項

1. 企業や営利を目的とした団体の役員，顧問職の有無と報酬額（1つの企業・団体からの報酬額が年間100万円以上）
2. 株の保有と，その株式から得られる利益（1つの企業の年間の利益が100万円以上，あるいは当該株式の5%以上を有する場合）
3. 企業や営利を目的とした団体から支払われた特許権使用料（1つの特許権使用料が年間100万円以上）

C. 申告者の所属する研究機関・部門の長にかかるinstitutional COI 開示事項

1. 企業や営利を目的とした団体が提供する研究費（1つの企業・団体からの研究費が年間1000万円以上）
2. 企業や営利を目的とした団体が提供する寄附金（1つの企業・団体からの寄附金が年間200万円以上）
3. その他（株式保有，特許使用料，あるいは投資など）

該当する場合は具体的な企業名（団体名）を記載。該当しない場合は「-」を記載する。

法人名は省略。企業名は2023年12月時点の名称とし、開示期間内に社名変更があった企業は旧社名を括弧内に記載する。

開示期間：2021年1月1日～2023年12月31日

氏名 (50 音順)	A									B			C		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	1	2	3
今川 彰久	—	—	—	—	—	小野薬品工業、MSD、バレクセル・インターナショナル、プリストル・マイヤーズタイプ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石垣 泰	—	—	—	サノフィ、ノボルディスクファーマ、興和、住友ファーマ（大日本住友製薬）、小野薬品工業、バイエル薬品、日本イーライリリー	—	第一三共、ノボルディスクファーマ	ノボルディスクファーマ、小野薬品工業、サノフィ	—	—	—	—	—	—	—	—
金藤 秀明	—	—	—	日本イーライリリー、住友ファーマ（大日本住友製薬）、田辺三菱製薬	—	—	日本ベーリンガーインゲルハイム、大正製薬、アボットメディカルジャパン、住友ファーマ（大日本住友製薬）	—	—	—	—	—	—	—	—
神谷 英紀	—	—	—	ノボルディスクファーマ、サノフィ、住友ファーマ（大日本住友製薬）、日本イーライリリー、第一三共、小野薬品工業、キッセイ薬品工業、田辺三菱製薬、興和、三和化学研究所、日本ベーリンガーインゲルハイム、アストラゼネカ、ノバルティスファーマ、MSD、大塚製薬、アステラス製薬	—	小野薬品工業、フクダ電子、CBC、バレクセル・インターナショナル、興和	住友ファーマ（大日本住友製薬）、大正製薬、武田薬品工業、ノボルディスクファーマ	—	—	—	—	—	—	—	—
寺内 康夫	—	—	—	サノフィ、アストラゼネカ、MSD、日本イーライリリー、アステラス製薬、ノボルディスクファーマ、日本ベーリンガーインゲルハイム、第一三共、バイエル薬品、小野薬品工業、住友ファーマ（大日本住友製薬）、興和、田辺三菱製薬	—	—	日本ベーリンガーインゲルハイム、住友ファーマ（大日本住友製薬）	—	—	—	—	—	—	—	—
藤本 新平	—	—	—	住友ファーマ（大日本住友製薬）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山内 敏正	—	—	—	MSD、住友ファーマ（大日本住友製薬）、ノボルディスクファーマ、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム	—	興和、ニプロ、サノフィ、ミノファージェン製薬、日東紡績	住友ファーマ（大日本住友製薬）、武田薬品工業、田辺三菱製薬	小野薬品工業、ノボルディスクファーマ、日本ベーリンガーインゲルハイム、朝日生命保険	—	—	—	—	—	—	—
綿田 裕孝	—	—	—	田辺三菱製薬、大正製薬、ノボルディスクファーマ、アステラス製薬、アボットジャパン、MSD、キッセイ薬品工業、アストラゼネカ、小野薬品工業、サノフィアベンティス、住友ファーマ（大日本住友製薬）、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、バイエル薬品、帝人、第一三共、興和、ロッシュDCジャパン、三和化学研究所、協和キリン	—	日本ベーリンガーインゲルハイム、ピオフェルミン製薬、住友ファーマ（大日本住友製薬）、SBIファーマ、興和	田辺三菱製薬、日本ベーリンガーインゲルハイム、ライフスキャン、日本イーライリリー、住友ファーマ（大日本住友製薬）、帝人ファーマ、大正製薬、アボットジャパン、三和化学、興和	田辺三菱製薬、小野薬品工業、興和、MSD、日本ベーリンガーインゲルハイム、三和化学研究所、住友ファーマ（大日本住友製薬）、大正製薬、武田薬品工業、総合医科学研究所	—	—	—	—	—	—	—

すべて開示事項なし：黒瀬 巖、庄嶋 伸浩

組織COI

2024年10月16日作成

日本糖尿病学会の事業活動における資金提供を受けた企業を記載する。

法人表記は省略。企業名は2023年12月時点の名称とし、開示期間内に社名変更があった企業は旧社名を()内に記載する。

開示期間：2021年1月1日～2023年12月31日

1. 日本糖尿病学会の事業活動に関連して、資金（寄付金等）を提供した企業名

共催セミナー	DEXCOM、Life Scan Japan、MSD、Noster、アークレイマーケティング、旭化成ファーマ、アステラス製薬、アストラゼネカ、アボットジャパン、エムベクタ（DB ダイアベティーズケア）、オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス、大塚製薬、小野薬品工業、キッセイ薬品工業、協和キリン、興和、寿製薬、サノフィ、三和化学研究所、塩野義製薬、神鋼環境ソリューション、住友ファーマ（大日本住友製薬）、積水メディカル、第一三共、大正製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、帝人ファーマ、帝人ヘルスケア、テルモ、日機装、ニプロ、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、日本ベクトン・ディッキンソン、日本メドトロニック、ノーベルファーマ、ノバルティスファーマ、ノボルディスクファーマ、バイエル薬品、ファイザー、フクダ電子、富士薬品、ミカリア、ミナリスメディカル、明治、メディパルホールディングス、持田製薬、ロシュ・ダイアグノスティックス、ロシュDC ジャパン
賛助会員	Life Scan Japan、MSD、Noster、PHC、アークレイマーケティング、アステラス製薬、アストラゼネカ、アボットジャパン、エスアールエル、エムベクタ（DB ダイアベティーズケア）、小野薬品工業、科研製薬、キッセイ薬品工業、協和キリン、興和、サノフィ、三和化学研究所、塩野義製薬、シスメックス、住友ファーマ（大日本住友製薬）、積水メディカル、第一三共、大正製薬、武田薬品工業、田辺三菱製薬、中外製薬、帝人ファーマ、テルモ、東ソー、ニプロ、日本イーライリリー、日本成人病予防協会、日本たばこ産業、日本ベーリンガーインゲルハイム、日本ベクトン・ディッキンソン、日本メドトロニック、ノボルディスクファーマ、ハーバー研究所（H プラスB ライフサイエンス）、文光堂、堀場製作所、ロシュDC ジャパン
研究助成	MSD、アステラス製薬、アボットジャパン、サノフィ、帝人ファーマ、日本イーライリリー、日本ベーリンガーインゲルハイム、ノボルディスクファーマ
顕彰制度	サノフィ、日本イーライリリー、ノボルディスクファーマ

2. 本書籍作成に際して、資金提供した企業名

なし